

し
ば
よ
こ
し
こ
よ
報
広
(13)

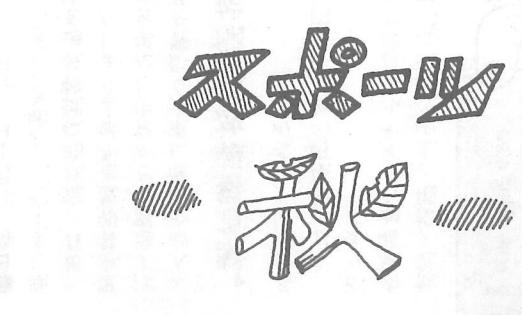
歌壇
北田 ふじ
葉鶏頭の絆
向後 泰治
久々に庭辺に佇てば空高く
葉鶏頭の絆夕日に透けり
蓮の葉に玉なす露の光りそむこめし
朝靄ややにうすれく
農業も吾が代かぎりに途絶えむか
老妻はひとり荒草むしる
背を丸め食膳につく老父の昔の
威厳いづこに消えし
斎藤 幸子
烟草の抜きしを燃やせば遠き日の
蚊遣りの匂ひたて煙れり

歌壇
佐瀬 初音
痛しとも苦しともなくゐますらむ
八十五の叔母昏睡つづく
散水のしぶきに生れゆく虹淡く
須臾のま空を染めて彩へり
遠くすむ戦友より久々電話きぬ
なつかしき思ひに一日在り経し
見つからぬままに帰し鉛筆か
針箱にあり孫の名印され
露宿る稻田は朝の陽を受けて
眩きばかり光りを放つ
青空を栗山川の川の面は
空より青く映し流るる
(選者) 斎藤つね子
おもほえずまた時長く語りたり
幾日もあらで嫁ぎゆく吾娘

前畑に大根蒔かむと耕せば
しめり程よく鍬になじめり
覚めてより起きいするまでの暫くは
老いの思索の時となりゆつ
潮光庵の古し畳に正座して
今おはすこと小川芋錢は
伊藤 美穂
藤代 ゆう
土屋 栗水
津田 若菜

夫になりたいとい
う焦りとともに「健
康」と言う二文字
はいつも頭の中か
ら離離れなくなりま
した。元気で働い
ているうちに多少
でも人間の体のしくみと、病気
はなぜおきのかぐらの関心
をなぜ持たなかつたかと残念に
思つています。

私が体を悪くし始めたころ、早
く元気になるようにと励まし続
けてくれた方々は健康そのもの
の人もありました。この方達も元
氣ゆえに自己の健康管理が不充
分でなかつたかと言われば、現
代医学は最悪の事態を相当程度
防げると言われてい
ます。



昨年の大豊作とまではいかないが、例年を多少上まわる作柄で、刈り入れにも力が入り、農家のみなさんは明るい実りの秋に顔がほころんでいました。



私のひとこと



「健康でありたい、健康であるためには……」という言葉を、テレビやいろいろな本で見聞きしてもすぐ忘れ去ってしまう日々でした。それは自分が健康であつたからです。

しかし、数年前、ふとしたことから体を痛めて通院することになり、医師から健康管理についていろいろと指示と注意をされ

健康について

宇井 英雄 (両国新田)

すすめる各種の検診を積極的に受けるべきだと思います。また、総合病院で、特に中年以上の方には年に一度か、二、三年おきに、できれば全身、または、部分的な精密検査を受けに把握して病を未然に防ぎ、元気で過せるように常に心がけるべきではないでしょうか。健康であることは本人はもちろん、家族の幸せにもなり、ひいては、地域社会に迷惑をかけることもないと考えます。このことを忘れずに健康に留意して楽しい人生を過ごしたいと願っています。

で、本当にうらやましい限りでしたが、その後、数年とたないうちに不治の病にかかり、再起不能になつたり、あるいは、不幸にして永い旅にてた方も何人もおりました。この方達も元氣ゆえに自己の健康管理が不充分でなかつたかと言われば、現代医学は最悪の事態を相当程度防げると言われています。